

シェアワークスくりはら 放課後等デイサービス 5領域支援プログラム

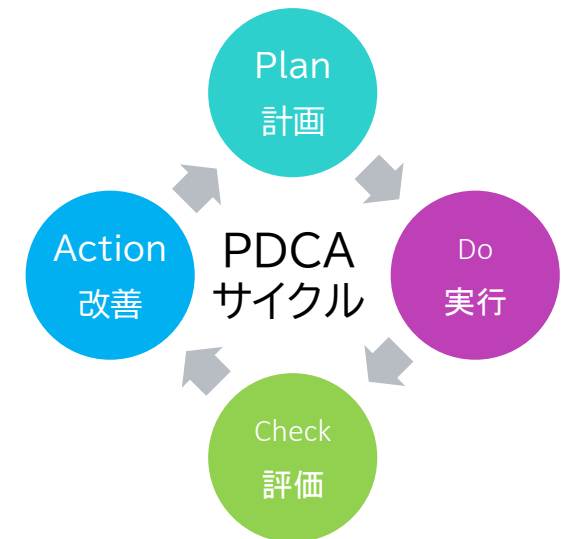
支援プログラム作成までの流れ

子どもたち一人ひとりの状況や状態を把握し、身体的・精神的機能への適正な支援を行うことで、日常生活及び社会的生活を円滑に営めるようにするために、子どもたち一人ひとりの個別支援計画を作成します。

作成した計画に基づき標準的な支援を提供していきます。適切な支援を提供するためには適時モニタリングを行う、必要な支援の検討・改善を行うことが必要です。

そのため、個別支援計画の見直し等を行う際には、

PDCAサイクル「Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)」で構成されるプロセスを取り入れることとしています。



5領域支援プログラム

健康・生活

- 毎日の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気付けるよう、観察を行います。
- 食事、衣類の着脱、排泄、片付け、身支度等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。また、基本的な生活リズムを身に付けられるよう決まった時間での誘導と支援を行います。
- 生活の中での課題を利用者様、ご家族様から伺い、個別支援として取り組みます。

運動感覚

- ゲームや手先を使った遊びや、散歩等を通して運動機能や感覚を養い、身体能力の維持・向上を目指します。
- 集団生活や製作活動を通して視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用し、個人の感覚について理解を深めていきます。
- 日常生活において必要な動作の基本となる姿勢保持や、個人の運動機能を観察し、必要に応じて個別支援として支援を行います。

5領域支援プログラム

認知行動

- 色や時間、空間等の様々な概念獲得に向け、個々の認知や行動の特性を正しく理解し、適切な環境の設定を行います。
- 他の人や自分、物を叩く等の社会的に受け入れがたい行為が見られた際は理由を見つけ、都度、適切な行動の習得を目指します。

言語 コミュニケーション

- 「歩く、走る、止まる」等の基本的な動作の言葉、「赤、青、黄色」等の基本的な色、「頭、肩、お腹」等の身体部位、「上下、左右、前後、反対」等の方向を表す言葉、「速く、ゆっくり」等の速さを表す言葉、「どうぞ、ありがとう、ください」などの社会性のある言葉を、活動を通して言葉と結びつけていきます。
- 言語が難しい場合は、指さしや手振り等の非言語コミュニケーション等を活用し、個々に合ったコミュニケーションがとれるよう支援していきます。

人間関係 社会性

- 集団生活を通して、ルールや順番を守ることや、強調した関わりを持てるよう支援します。
- 他社との適切な距離感を把握できるよう適宜声掛けを行い、他社との良好関係形成を支援します。
- 地域との交流を図り、他社交流の経験を積むことができるように支援します。

事業所名	シェアワークスくりはら		支援プログラム	作成日	2025	年	2	月	28	日
法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> ・全てやってあげる支援ではなく、利用者様個々の「自立」に向けて一人ひとりの力を引き出す支援を行います。 ・地域住民との関わりを大切に、信頼し協力し合える（Share Works）施設づくりを目指します。 									
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・一人でできることを増やし、自分を認め、社会の中で自分らしく生きるための力を身に付けられるよう支援します。 ・人に頼る力、人を信頼する心を育みます。 									
営業時間	8	時	30	分から	17	時	30	分まで	送迎実施の有無	あり
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の健康管理と必要な対応を行います。小さなサインから心身の異変に気付けるよう、観察を行います。 ・食事、衣類の着脱、排泄、片付け、身支度等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援します。また、基本的な生活リズムを身に付けられるよう決まった時間での誘導と支援を行います。 ・生活の中での課題を利用者様、ご家族様から伺い、個別支援として取り組みます。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームや手先を使った遊び、散歩等を通して運動機能や感覚を養い、身体能力の維持・向上を目指します。 ・集団生活や製作活動を通して視覚、聴覚、触覚等の感覚を活用し、個人の感覚について理解を深めていきます。 ・日常生活において必要な動作の基本となる姿勢保持や個人の運動機能を観察し、必要に応じて個別支援として支援を行います。 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・色や時間、空間等の様々な概念獲得に向け、個々の認知や行動の特性を正しく理解し、適切な環境の設定を行います。 ・他者や自分、物を叩く等の社会的に受け入れがたい行為が見られた際は理由を見つけ、都度適切な行動の習得を目指します。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・「歩く、走る、止まる」等の基本的な動作の言葉、「赤、青、黄色」等の基本的な色、「頭、肩、お腹」等の身体部位、「上下、左右、前後、反対」等の方向を表す言葉、「速く、ゆっくり」等の速さを表す言葉、「どうぞ、ありがとう、ください」等の社会性のある言葉、それらの言葉を活動を通し動作と結びつけていきます。 ・言語が難しい場合は、指差しや手振り等の非言語コミュニケーション等を活用し、個々に合ったコミュニケーションがとれるよう支援していきます。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の中で他者との関わりを通し、ルールや順番を守ることや協調した関わりが持てるよう支援します。 ・他者との適切な距離感を把握できるよう適宜声掛けを行い、他者との良好な関係を築くための支援を行います。 ・地域との交流を図り、様々な交流の経験を積むことができるよう支援します。 								
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や送迎時等、来所時の様子や気になる様子について情報共有の機会を持ち、連続性のある総合的な支援を行います。 ・他関係機関との連携を図り、支援体制を構築します。 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後等、移行先にスムーズに移行ができるよう、各関係機関との連携を図り、調整を行います。 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公共施設の利用や地域イベントへの参加等、地域との交流の機会を設け支援します。 				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の事業所会議の実施 ・毎月の内部研修の実施 ・月1回障害部門会議の実施（情報共有、課題抽出、研修等） 				
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会 ・節分（豆まき） ・水遊び ・ハロウィン ・クリスマス会 ・初詣 ・他事業所との交流会 ・社会体験（買い物体験、公共施設利用等） 									